

## ガマのひとりごと

ニュースレターの原稿を書くガマ



## 家の通気・通風の話

こんにちは、ガマです。

沖縄はそろそろ梅雨に入ること。また暑い夏がやってきます。展示場は昨年、エアコンの除湿 26℃でさわやかでしたけれど、実家では冷房 20℃全開の毎日でした。

出入りの職人たちに聞いても、夏は仕事はかどらないとこぼ

します。冬は重ね着で暖をとることができますが、夏は裸以上に涼しくすることはできません。瓦屋さんなど、日陰・日陰と仕事をしてゆくのですが、日中は屋根に上がれなくなりますからね。日本は昔から夏の過ごしにくい国だったのでしょ。

家の造りも昔は夏場対策をしていました。庇を深くして、直射日光をさえぎり、襖・障子による通気ですね。

「家の作りやうは夏をむねとすべし。冬はいかなる所も住まる。暑き頃わろき住居は、堪へがたき事なり」

これは兼好法師が「徒然草」の中で書いている有名な文章の一節です。

アジアモンスーン地帯に位置する日本は高温多湿です。降雨量は世界平均の2倍あります。また、ロンドンやパリの緯度が北海道あたりだと考えれば、日本は南国ですよ。「いかに雨をしのぐか」「いかに涼しく過ごすか」が住まいの一大テーマだったのがわかろうというものです。これが、つい40年前の日本の現実だったのです。

今は冷暖房機器が発達し、住宅の気密性能・断熱性能も高まっており、家の中での暑い寒いのが差がなくなってきています。ところが、家の間取りは昔の思考をひきずっており、南に面して開口を広くし、子供部屋や老人室を日当たりのよい所にもってゆきたいという方が多いですね。窓ひとつ考えても、夏に南側の窓が受ける陽光は猛々しいと表現したくなる程、強く暑いです。北側の窓は直射日光を受けませんから、明るいだけです。

欧米では、マンションの価格は北側に窓のある部屋の方が高いといひます。日中でもカーテンを閉める必要がありませんし、絵画やピアノが日にやける心配もありません。日本で南側に老人や子供の居住空間をもってくるのは、太陽によって冬の暖を少しでも取り込み、弱者を守ろうとする貧しい昔の発想なのですね。でも今は実際には夏も冬もエアコンに依存している。

なお悪いことに、昔と違ってひとつひとつ小さく部屋を間仕切って閉鎖型の家にしてしまっている。通気・通風を忘れているから夏場は非常に暑く過ごしにくい家となってしま

っています。エアコンがなければ絶対生活できない家になっていますよ。

私は考えるのですが、プライベートルームの集まっている2階は、南に縁側をもうけ、部屋は北側にもってゆくべきではないか。縁側の南に窓、縁側と部屋の間の壁面にも窓、部屋の北面にも窓、こうすると、夏の陽光が直接部屋に注ぎ込むことはありませんし、窓を開けることにより南から北へ、北から南へと風は通っていきます。夏場はずっと過ごしやすいと思いますね。

今はもう一度、より深い意味で通気・通風を考える間取りに取り組む時代なのかもしれませんよ。

## 我が家のペット

### メダカ(目高)

セメントを練るプラ舟を利用して、メダカを飼っている。黒メダカ(自然のメダカ)・緋メダカ・白メダカという。メダカの水槽としては、深さより、水面の広さの方が重要で、プラ舟はちょうどいい。

黒は100匹ほどいるはずだ。茶屋町に越してきた20年前には、用水路にあふれかえていた。一網すくうと20~30匹はとれたものだ。

今はほとんど姿を見ない。絶滅危惧種に指定されたのも宜(むべ)なるかなと思う。私の飼っている黒は息子が5年前にすくってきてくれた15匹から増やしたものだ。

緋は60匹ほどいるだろう。20年前にペットショップで10匹50円で買ったものの子孫たちである。1000匹近くに増えたこともあったが、水槽を別けることもせず、卵をとるためにウォーターレタスを放り込んでおいたら、水槽からあふれんばかりにウォーターレタスが増殖し、水面をおおい、酸欠でほとんど全滅してしまった。4年前のことだった。かろうじて生き残っていた6匹からやっと今の数に戻ってきた。

白は30匹。3年前に家のリフォームをした時、棟梁のNさんが9匹持ってきてくださった。その残りと孵化した子供で今に到っている。昨年までは、親は別々の水槽で飼っていたけれども、孵化させる水槽はひとつにしていた。するとどうも白が他の少し大きくなったメダカのエサになっているようで、成長したメダカの比率が白だけ極端に悪かった。今年は孵化用の水槽も別々にするつもりだ。

屋外のプラ舟は別段何もしていない。水を張って、産卵床としてホテイアオイ・アナカリス(水草)・シュロの皮を放り込んでいるだけだ。エサは和鳥の練り餌をやっている。市販の「メダカのエサ」も買っているが、それよりずっと安いから、いつもは練り餌を2つ



メダカのための小宇宙

まみほどふりまいてやる。また雑草についてアブラムシを水面に払い落としてやると喜んで食べている。

産卵床にある程度卵がつくと、別の水槽に移してやる。黒と緋は産んだ卵を親が食べているらしく、今年は産卵数が少ない。とって親を別けるには水槽の数を増やさなければならないので、少し頭が痛い。商売をしてるわけでもないのに、まあいいかといったところだ。

卵は径1ミリ程で、白濁しているのは死んでいる。生きているのは透明で弾力がある。孵化は平均25℃の水温で10日。平均18℃だと、 $25^{\circ}\text{C} \times 10 \text{日} \div 18^{\circ}\text{C} = 13.9$ 、という計算式がなりたつそうで、今頃の季節だと13.9日で孵化する予定だ。

メダカは闘争心が強いのか、孵化して1週間ぐらいで円を描くようにしてつかかり合い、喧嘩をしている。たぶんオス同士なのだと思う。また水面近くには生まれたばかりのもの、少し大きくなると下の方で泳いでいるから子メダカなりに縄張り意識があるようだ。

観賞用だとガラス鉢に床砂を入れ、アナカリス（水草）を植え、残ったエサや苔を食べさせるためにモノアラガイを入れている。メダカのための小宇宙を作ってやると、頻繁に水替えをしなくとも、けっこう元気に泳いでくれている。展示場ではそのようにして昨年産まれて成長の遅れている白メダカを9匹飼っている。

今年はメダカ達を少し増やしてやろうかなと考えている。私もメダカを飼ってみようかなと思っておられる方、お知らせ下さい。お持ちします。

## 読後雑感

### 「解夏(げげ)」

さだ まさし・著 幻冬舎文庫

さだまさしさんの本を読んだ。誰が買ったのか、自宅にあったものだ。ビックリした。文章が優しくきれいで、面白いので。

私の中で、彼の曲を耳にするとまっさきに思い出すのは、高校時代のお正月休み。家族が順番に風邪を引いて倒れてゆき、例外なく私も寝込んだとき、高熱を出しながら何度も聞いた。なぜさだまさしさんの曲だったのか。「一人旅に出る」とか「あなたと別れて生きていく私」などといった内容の暗い曲が多くて、よけい熱が上がりそうだった…。楽しかったのは「修学旅行」のことを歌った曲で、何度も聞いて覚えたが、元気になっていざカラオケで歌おうとしても曲が登録されていなくて残念だった。思えばどの歌も、目の前にその情景が浮び、熱が出て苦しくてもその歌の世界に連れていってくれた。だから何度も聞いていたのかもしれない。

本の方は、全く暗くなかった。それどころか、今の日本人が失ってしまった、本当の優



しさや本当に大切にすべきものが描かれているような、強く穏やかな愛情を感じ、ポロポロと泣いてしまった。私はすっかり今の日本人で、その失ったものが何なのかさえ、分かっていないかもしれないけれど。

「解夏」は、4編からなる小説集で、その中でも一番好きなのは、フィリピンから日本に来て水商売をしていた女の人が、閉鎖的な村の農家の嫁になる「秋桜（あきざくら）」という話。

ちょっと頼りないが優しい夫と、心温かく嫁を護る舅。気の強い姑とはあまりうまくいっていなかったけれど、ずっと嫁を護ってくれていた舅が亡くなった後、その姑の行動から彼女もまた、嫁を大切に思っていることが分かる。

人間、言葉じゃないのだ、と思う。最近は何でも素直に自分の気持ちを言うのがよし、とされる傾向にあるけれど、「秋桜」の姑のように、嫁への思いをキツイ言葉でしか表せない不器用な人間、私は好きだなぁ。嫁にとっては辛かっただろうから、だからキツイ言葉の裏の優しさを知ったとき、涙が出たのだ。

しかし、さだまさしさん、歌はちょっと暗めで、話は面白く、文章は優しい。全くもって不思議な人だ。 (中井 千尋)

## 千の夢話

### 親の洗脳

洋画を観た後、平面的な自分の顔を受け入れるのに時間がかかる中井千尋です。鼻の高い外国人ばかりを2時間見た後、自分もその主人公たちの一員になった気分であるから、トイレなどに行って鏡を見ると、いつも、そう分かっていてもいつも、「ん？ 私こんなのおっぺりした顔やった？」って思うんですよね。私だけ？

先々月と先月、母親と父親のことを書いたけれど、両親は共通して子どもを「可愛い、可愛い」と言って育てました。私は20歳過ぎるまで、本当に自分のことを「可愛い」って思っていた。社会に出て「そうでもない」と知るまでに20年。小学生の頃、「ブス」と書いた紙を背中にはられたことがあったけれど、そのときも気付かなかった…。親の洗脳をありがたい、と心から感謝しています。

話は変わりますが、6月13日の土曜日(10:00~16:00)に、岡山市今にあるトステムショールームで「暮らし祭り」と題した催しがあります。内容は\*大抽選会 \*ビーズ教室 \*ポーセラージュ \*ぐるめコーナーなど。行かれる方は一声かけていただければ幸いです。「ポーセラージュ」というのは、マグカップへ絵付けすることを言うみたいで、こちらは11:00~と14:00~の先着順となっています。どうぞよろしくお祈りします。

ブログ「親子で起業 奮戦記 ~帰りたくなる家造りを~」 <http://yu-rinhome.seesaa.net/>  
(「ガン ユーリン」で検索してみてください)